

# 歯周病の自己診断



歯周病は初期の段階ではほとんど自覚症状がありません。以下のような自覚症状が出たときには既に歯周病がかなり進行している事が多く、歯周病に限らず長期間の治療が必要になり、歯周病の場合は最悪、抜歯しなければならないこともあります！

以下の症状がある方は早めに歯医者で診察してもらいましょう！

## 歯周病の自己診断

### 1:歯磨きなどで歯茎(歯肉)から出血する

歯肉(歯茎)には多くの毛細血管が通っており、歯周病菌に侵されて歯肉が炎症を起こし、炎症部分に歯磨きや硬い物を噛むなどの強い力が加わると炎症部分から出血してしまうのです。

### 2:口臭がするようになった

歯周病の場合、歯周病菌(細菌)の繁殖によって起こるニオイですので、かなり強烈なニオイがすることが大きな特徴です。



自分では気付きにくく、他人も指摘しづらいものなので、口臭がきつくなってもなかなか分からないため、歯周病が原因で口臭がしている場合でも気付かないまま歯周病が進行してしまうことがあります。

### 3:口の中がネバネバする

歯周病菌が唾液の中に多く含まれていると「ネバネバ」としますので、特に朝起床時に口の中がネバネバしたり、何か気持ち悪い場合は歯周病の可能性があるので注意が必要です！

### 4:歯茎(歯肉)が腫れている

歯茎(歯肉)が腫れたり、ブヨブヨ柔らかくなっているのも歯周病の典型的な症状です。

### 5:歯茎(歯肉)が赤、紫色になった

健康的な人の歯茎(歯肉)はピンク色をしていますが、歯周病になるとまずは歯茎(歯肉)が赤色になり、さらに症状が進行すると赤紫と、徐々に歯茎(歯肉)の色が濃くなっていくのが特徴です。



ごきげんデンタルクリニック

